

# 日本史

# 日 本 史

**第1問** 原始・古代～近代の交通・運輸に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～8）に答えよ。

**A** 縄文時代の人々はかなりの航海技術をもっていたとされる。それは、縄文時代の遺跡が伊豆大島や八丈島にもみられることや、伊豆諸島の神津島<sup>こうづしま</sup>を産地とする「ア」でつくられた石器が関東平野の各地で出土していることからもうかがうことができる。

その後、弥生時代から古墳時代にかけて、多くの人々が航海の困難を乗り越え、日本列島に渡来して大陸の文化を伝えた。

7世紀になると、朝廷は乙巳の変の翌646年に詔を出して中央集権を進める方針をうちだし、<sup>a</sup>「駅馬・伝馬を置くことが定められた。」

701年の大宝律令制定によって律令国家が成立すると、都と諸国の国府を結ぶ東海道など七道の官道（駅路）が整備され、約16kmごとに駅家を置く駅制が定められた。七道のなかでは都と大宰府を結ぶ「イ」がもっとも重要な官道であった。

**問1** 空欄「ア」・「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- |   |           |       |
|---|-----------|-------|
| ① | ア－黒曜石     | イ－南海道 |
| ② | ア－黒曜石     | イ－山陽道 |
| ③ | ア－ひすい（硬玉） | イ－南海道 |
| ④ | ア－ひすい（硬玉） | イ－山陽道 |

**問2** 下線部<sup>a</sup>に関連して、さらに7世紀半ばすぎには、西日本に烽<sup>とぶひ</sup>という通信施設がもうけられ、各地に古代朝鮮式山城が築かれた。これらの措置がとられるきっかけになった事件について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 筑紫国造磐井が九州北部で大規模な反乱を起こした。
- ② 沿海州地方に住む刀伊が突如九州北部に襲来した。
- ③ 日本の軍が白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた。
- ④ 大宰府に赴任していた藤原広嗣が反乱を起こした。

**B** 中世には産業や経済の発展にともなって交通・運輸がいちじるしく発達した。鎌倉時代、各地の湊<sup>みなと</sup>には商品の中継ぎと委託販売や運送にあたる「ウ」があらわれ、遠隔地との取引には金銭の輸送を手形で代用する為替の利用も始まった。室町時代には海・川・陸の交通はいつそうさかんになり、大量の物資が運びこまれる京都の周辺では、<sup>⑥</sup>馬借・車借とよばれる運送業者が活躍した。

江戸時代になると、<sup>⑦</sup>幕府は五街道や脇街道などの主要道路を整備し、宿駅の制を設けた。また、江戸・大坂・京都の三都や各地の城下町を結ぶ全国的な道路網もつくられた。大量の物資輸送に適した水上交通も、「エ」によって東廻り海運・西廻り海運が整備され、大坂と江戸の間には定期便が運航するようになった。こうして江戸時代には全国的な流通ネットワークが形成され、経済の発展をうながした。

**問3** 空欄「ウ」・「エ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① ウー問（問丸） エー河村瑞賢
- ② ウー問（問丸） エー角倉了以
- ③ ウー連雀商人 エー河村瑞賢
- ④ ウー連雀商人 エー角倉了以

**問4** 下線部<sup>⑥</sup>について、組織力をもった馬借・車借の蜂起は大規模な徳政一揆の引き金になることがあった。1428年に起こった正長の徳政一揆は、当時、京都への交通の要地であったある地域の馬借の蜂起から始まったとされる。この地域はどこか。該当する場所を次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 4



問5 下線部㉔に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

Ⅰ 街道の要地には関所が設置され、関銭を徴収した。

Ⅱ 宿駅には掛屋が置かれ、継飛脚の業務にもあたった。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

C 明治政府は、近代国家建設のため殖産興業に力をそそいだ。その一環として鉄道の建設にも着手し、1872年には東京（新橋）・横浜間に官営鉄道を開通させた。その後、④ 民営鉄道も参入して全国で鉄道の建設が進められ、鉄道は近代日本の陸上輸送の基幹を担うものとして発展していった。

一方、海運業では1885年、それまで激しく競争していた三菱会社と共同運輸会社との合併によって日本郵船会社が設立された。日本郵船会社は1890年代につぎつぎと遠洋航路を開いていった。とくにインドへのボンベイ航路はオの輸入に大きな役割を果たし、日本の産業革命に貢献した。大正時代になって⑤ 1914年に第一次世界大戦が始まると、大戦景気のなかで海運業は造船業とともに空前の好況となり、いわゆる「船成金」が生まれた。

問6 下線部④に関連して、明治時代の鉄道について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

- Ⅰ 天皇は鉄道で京都に急行し、大津で負傷したロシア皇太子を見舞った。
- Ⅱ 鉄道国有法が制定され、全国の主要幹線が国有とされた。
- Ⅲ 華族の資本を中心に日本鉄道会社が設立された。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問7 空欄オに入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 製糸業に必要な綿花
- ② 紡績業に必要な綿花
- ③ 製鉄業に必要な石炭
- ④ 製鉄業に必要な鉄鉱石

問8 下線部⑤の第一次世界大戦の開戦時、日本はいくつかの国際的なとりきめによって連合国側の中心となる三国協商の国々の側に立つこととなった。そのとりきめの一つとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 日露協約                      ② 日独防共協定
- ③ 日米通商航海条約          ④ 四カ国条約

**第2問** 古代～中世の学問や文学と政治に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

**A** 古代の律令政治は漢文の文書を使用した。そのため中央・地方の官人は、教育によって読み書きの能力を習得する必要があった。また政治の中心となる貴族は、かなりの学問・教養を身につけていた。『続日本紀』は、奈良時代に一時政權をにぎった<sup>①</sup>藤原仲麻呂（恵美押勝）について、彼が逆賊として処刑されたにもかかわらず、「率性聡敏にして略書記に渉る」、すなわち「生まれつき聡明で、ほとんどの漢文の書物を読破していた」と記し、その学問的素養を高く評価している。

平安時代初期も、律令官人として職務に励むため学問を修める必要があるとする気風が貴族たちにはあり、<sup>②</sup>藤原氏をはじめとする有力貴族は、きそって一族の子弟の勉学のために大学別曹を設置した。また、「文章経国」の思想によって漢文学がさかんになり、嵯峨天皇のときの<sup>ア</sup>を最初とする勅撰漢詩集があいついで編纂された。

**問1** 下線部<sup>①</sup>が反乱を起こして滅んだ時期として正しいものを、次の年表中の①～④のうちから一つ選べ。

光明子が皇后になる

①

聖武天皇が恭仁京に遷都

②

大仏造立の詔が出される

③

橘奈良麻呂の変

④

光仁天皇の即位

問2 下線部⑥の藤原氏と大学別曹について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10

Ⅰ 平城太上天皇の変によって藤原薬子の南家が没落した。

Ⅱ 藤原氏が設置した大学別曹を勸学院という。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問3 空欄 ア に入る漢詩集として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

① 『凌雲集』      ② 『懷風藻』      ③ 『経国集』      ④ 『性霊集』

B 平安時代中期の摂関政治期には儀式・行事の比重が増大し、先例が重んじられるようになった。そのためこの時代の貴族たちは、煩雑な儀式や政務を無事に務めることができるよう、子孫のためにその詳細を日記に記録するようになった。㉞彼らの日記には、ほかにも政治的事件や家族の動向、日常生活の様子などが記載されており、この時代を知る重要な史料となっている。

平安時代後期になると、摂関家に抑えられていた中・下級の貴族のなかには、その学問的知識や実務能力によって政治の中枢に登用されるものも現れた。摂関家に対抗して政治改革をめざした後三条天皇に登用された「イ」はその一人である。また、後白河院の近臣として権勢をふるい、平治の乱で源義朝・藤原信頼の兵に追われて自害した「ウ」は、『本朝世紀』などの著書もあるすぐれた学者であった。

問4 下線部㉞に関連して、次の史料は平安時代のある貴族の日記の一部である。これについて述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

今日、女御藤原威子を以て皇后<sup>\*1</sup>に立つるの日なり。前太政大臣の第三の娘なり、一家三后を立つること、未だ曾て有らず。……太閤、下官<sup>\*2</sup>を招き呼びて云く、「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし<sup>\*3</sup>」者。答へて云く、「何ぞ和し奉らざらむや」。又云ふ、「誇りたる<sup>\*4</sup>歌になむ有る。但し宿構に非ず<sup>\*5</sup>」者。「此の世をば我が世とぞ思ふ望月の かけたることも無しと思へば」。

(注)

\* 1 皇后…実際は中宮      \* 2 下官…私・自分      \* 3 和すべし…返歌してくれ

\* 4 誇りたる…今日のことを誇らしく思って作った      \* 5 宿構に非ず…いま思いうかんだ即興の歌だ

- ① 史料中の「前太政大臣」は藤原道長のことである。
- ② 史料中の「下官」は藤原実資のことである。
- ③ 史料中の「藤原威子」は清和天皇の中宮に立てられた。
- ④ この史料の日記は『小右記』である。

問5 空欄「イ」・「ウ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① イー三善清行 ウー藤原通憲 (信西)
- ② イー三善清行 ウー藤原頼長
- ③ イー大江匡房 ウー藤原通憲 (信西)
- ④ イー大江匡房 ウー藤原頼長

C 1219年、後鳥羽上皇と親密であった源実朝が暗殺されると朝幕関係は緊張した。1221年、  
④承久の乱が起こり、敗れた後鳥羽上皇は隠岐に流された。これによって、幕府の朝廷に対する優位が確定し、政治の様相は大きく変化していった。

この頃は、文化面でも大きな転換期だった。源実朝や後鳥羽上皇はこの時代を代表する歌人で、上皇が藤原定家らに編纂させた『新古今和歌集』は、王朝文学の根幹となる八代集の最後をかざるものとなった。また後鳥羽上皇や、承久の乱とともに配流された順徳天皇には  の著書があり、朝廷の儀式や先例を研究する学問が鎌倉時代に盛んになるのは、過ぎ去った王朝時代を懐古する公家たちの心情によるものであった。

鎌倉時代末期、禅僧によって宋学（朱子学）が伝えられ、その  は後醍醐天皇を中心とする討幕活動の理論的な拠りどころとなった。

問6 下線部④に関して、承久の乱直後の幕府の措置について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 幕府は後堀河天皇を廃し、後嵯峨天皇を立てた。
- ② 幕府の要請で後白河天皇の皇子が将軍として鎌倉に下った。
- ③ 幕府の意向で新たな上皇が立てられ、院政がつづけられた。
- ④ 京都所司代が六波羅探題に改められ、朝廷の監視にあたった。

問7 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 工－古今伝授      オ－本地垂迹説
- ② 工－古今伝授      オ－大義名分論
- ③ 工－有職故実      オ－本地垂迹説
- ④ 工－有職故実      オ－大義名分論

**第3問** 室町時代～江戸時代初期の対外関係に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 14世紀半ば、（太祖洪武帝）が建国した明は、漢民族の王朝として中国を中心とする伝統的な国際秩序の回復をめざし、日本にも倭寇の禁圧と通交を求めてきた。14世紀末に南北朝を合体するなどして室町幕府を確立した足利義満はこれに応え、1401年、明に使者を送って国交を開いた。また1404年には<sup>a</sup>日明貿易が始まり、戦国時代の16世紀半ばまでつづいた。日明貿易は、日本に経済的にも文化的にも大きな影響をもたらした。

朝鮮半島では14世紀末、倭寇の被害でおとろえた高麗にかわって朝鮮が建国され、足利義満は朝鮮とも国交を開いた。これにともなって<sup>b</sup>日朝貿易もさかんに行われるようになったが、朝鮮は対馬の宗氏をつうじて通交についての制度を定め、貿易を統制した。この貿易で大量に輸入されたは、人々の生活に大きな影響をあたえた。

問1 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー李舜臣 イー木綿
- ② アー李舜臣 イー香料・染料
- ③ アー朱元璋 イー木綿
- ④ アー朱元璋 イー香料・染料

問2 下線部<sup>a</sup>について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日明貿易は朝貢の形式で行われたため日本側の利益は大きかった。
- ② 日明貿易は將軍足利義持によって一時中断されたこともあった。
- ③ 銀が大量に輸入され、日本の貨幣経済に大きな影響をあたえた。
- ④ 寧波の乱後、博多商人と結ぶ大内氏が貿易を独占するようになった。

問3 下線部⑥について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

Ⅰ 応永の外寇によって貿易は一時中断した。

Ⅱ 三浦の乱以後、貿易はしだいにおとろえていった。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

**B** 15世紀後半から16世紀にかけて、ヨーロッパは大航海時代に入った。アジアに進出したポルトガルは貿易に参入して「ウ」を拠点とした。1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が種子島に漂着し、これ以後ポルトガル船が、毎年のように九州各地の港に来航するようになった。その後、スペイン船も来航するようになり、<sup>㉔</sup>南蛮貿易がさかんに行われた。

1549年、スペイン人の宣教師が渡来してキリスト教を伝えた。キリスト教は九州を中心にたちまち広まり、キリシタン大名もあらわれた。これに対し、全国統一を進めつつあった豊臣秀吉は、警戒心をいだくようになった。1587年の九州平定のときに出した「工」では「黒船の儀ハ商売の事に候間、各別に候の条、年月を経、諸事売買いたすべき事」として貿易は奨励した。

**問4** 空欄「ウ」・「工」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① ウーマニラ      エー海賊取締令
- ② ウーマニラ      エーバテレン（宣教師）追放令
- ③ ウーマカオ      エー海賊取締令
- ④ ウーマカオ      エーバテレン（宣教師）追放令

**問5** 下線部㉔について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 南蛮船は平戸や豊後府内などに入港した。
- ② 南蛮貿易で有田焼（伊万里焼）などの陶磁器が輸出された。
- ③ 南蛮貿易によって鉄砲・火薬や艦船が輸入された。
- ④ 南蛮船によってキリシタン版の書籍がもたらされた。

C 1600年、オランダ船リーフデ号が豊後に漂着したことをきっかけに、オランダ人やイギリス人が来航するようになった。当時ヨーロッパでは、プロテスタントの商工業者が台頭して国力を増したオランダやイギリスが、カトリック国のスペイン・ポルトガルを圧倒しつつあったが、④対日貿易においては、この4カ国はたがいに激しい競争をくり広げた。競争に敗れたイギリスは、最初に日本から撤退していった。やがてカトリックの布教を警戒する幕府はスペインとポルトガルに対して来航禁止令を出し、さらにオランダ商館が長崎の出島に移されることによって、日本はいわゆる鎖国の状態となった。

しかし、鎖国後も長崎貿易は活発に行われた。また日本は、中国に朝貢する琉球王国を支配下に入れた薩摩藩、⑤朝鮮との外交上の特権を認められた対馬藩、沿海州地方とも交易していたアイヌを支配する松前藩などを通して、近隣諸国との交流をもった。

問6 下線部④に関連して、江戸時代初期のオランダ・イギリス・スペイン・ポルトガルの4カ国との関係などについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 幕府は、鎖国後もオランダ風説書によって海外情報を入手した。
- ② イギリス人のヤン=ヨーステンは、徳川家康の外交・貿易顧問になった。
- ③ 仙台藩主伊達政宗は、家臣の支倉常長をスペインに派遣した。
- ④ 幕府は糸割符制度を設けて、ポルトガルとの生糸貿易を統制した。

問7 下線部⑤に関して、対馬藩が朝鮮と外交や貿易に関して1609年に結んだ条約として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 江華条約
- ② 己酉約条
- ③ 濟物浦条約
- ④ 癸亥約条

**第4問** 江戸時代の政治改革に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。  
（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

**A** 1716年に徳川吉宗が8代将軍になったころ、幕府は深刻な財政難にみまわれ、商業経済の発展や農村社会の変動によって幕藩体制は動揺し始めていた。そこで<sup>a</sup>吉宗は、財政再建を中心とする幕政の改革にとりくんだ。この享保の改革はかなりの成果を上げたものの、幕藩体制を根本的に立て直すことはできなかった。

その後、老中田沼意次が積極的な経済政策をうちだしたが、浅間山の大噴火や天明の飢饉などもあって非難が高まり、失脚した。

田沼の後、1787年に老中となった松平定信は、天明の飢饉後の農村復興と、農村の荒廃によって江戸に流入する困窮民対策としての都市政策を中心に寛政の改革を進めた。しかしながら、<sup>b</sup>あまりに厳しい改革方針に人々は反発し、十分な成果が上がらないまま、定信は6年ほどで老中を辞職した。

**問1** 下線部<sup>a</sup>の徳川吉宗による幕政改革について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 借金に苦しむ幕臣を救済するため足高の制を定めた。
- ② 勘定吟味役の荻原重秀の意見を取り入れて、貨幣の改鋳を行った。
- ③ 実学を奨励し、漢訳洋書の輸入制限を緩和した。
- ④ 印旛沼・手賀沼の干拓に着手し、新田開発を奨励した。

**問2** 下線部<sup>b</sup>について、人々は「世の中に蚊<sup>か</sup>ほどうるさきものはなし ぶんぶといふて夜もねられず」というような狂歌によって寛政の改革を風刺したが、幕臣でありながらこの狂歌の作者ではないかとも噂<sup>うわさ</sup>された人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 大田南畝（蜀山人）      ② 柄井川柳
- ③ 山東京伝                      ④ 曲亭馬琴

**B** 松平定信の老中辞職後、文化・文政年間を中心とする 19 世紀前半の 11 代将軍徳川家斉の治世には、政治は緩み、外国船の接近があいつぐなど幕政の危機は深刻化した。この時期、農村の治安対策のため **ア** が設置されるなどしたが、**㉔**1837 年に起こった大塩の乱は、人々に幕府の動揺を印象づけた。

このような中で老中水野忠邦は 1841 年、家斉の死をきっかけに天保の改革に着手した。しかし、**㉔**幕府権力を強化しようとした政策が譜代大名や旗本の強い反対にあって実施できず、1843 年、忠邦は辞職に追いこまれた。これは、幕府の衰退がいつそう進んだことを示すものとなった。

この天保期には藩政改革にとりくむ藩も多く、**イ** の主導によって改革に成功した長州藩のように、成果を上げた藩は、やがて幕末に雄藩として政治力を強めていった。

**問 3** 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- ① **ア**－関東郡代      **イ**－鍋島直正
- ② **ア**－関東郡代      **イ**－村田清風
- ③ **ア**－関東取締出役   **イ**－鍋島直正
- ④ **ア**－関東取締出役   **イ**－村田清風

**問 4** 下線部**㉔**の大塩の乱は、大塩平八郎が幕府の元役人であったことと、起こった場所が幕府の重要直轄地であったことから世間に衝撃をあたえた。大塩の乱が起こった場所はどこか。該当する場所を次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 **26**



問5 下線部④に関する次の史料中の空欄「ウ」に入る語句として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

御料所（幕領）の内薄地<sup>はくち</sup>\*1 多く、御収納免合<sup>めんあい</sup>\*2 相劣り、……当時御料所より私領の方高<sup>こう</sup>免<sup>めん</sup>の土地多く之<sup>これ</sup>有り候もの、不都合の儀と存じ奉り候。……此度<sup>このたび</sup>江戸大坂最寄<sup>もより</sup>（周辺）御取<sup>おんとり</sup>締り<sup>しま</sup>として「ウ」仰<sup>おお</sup>せ付けられ候。

(注)

\* 1 薄地…収穫の少ない土地      \* 2 御収納免合…年貢収納率

- ① 上げ米      ② 棄捐      ③ 領知替え      ④ 上知

C 1853年にペリーが来航したときに老中首座であった【工】は、翌年、開国を決断するとともに、安政の改革に着手した。その主な内容は、大船建造の解禁、品川の台場（砲台）建設、長崎海軍伝習所の開設、洋学所の設置などで、また身分・家柄をこえて勝海舟（義邦）らの人材が登用された。

その後、1860年の桜田門外の変で大老井伊直弼が暗殺され、幕府の衰退はさらに進んだ。1862年、坂下門外の変の後、薩摩藩の島津久光が勅使とともに江戸に下り、幕政改革を要求した。こうして行われた文久の改革は、朝廷の意向をくんで行われるという異例なもので、  
⑤大老井伊に弾圧された大名が復権して幕政の中樞に就く人事が行われた。このとき【オ】が緩和されたことにより、幕府の諸大名に対する統制力は急激に失われていった。

問6 空欄【工】・【オ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 【28】

- ① 工－阿部正弘 オ－大名知行制
- ② 工－阿部正弘 オ－参勤交代制
- ③ 工－堀田正睦 オ－大名知行制
- ④ 工－堀田正睦 オ－参勤交代制

問7 下線部⑤に関連して、このときの人事について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 【29】

- Ⅰ 越前藩の松平慶永が政事総裁職に就任した。
- Ⅱ 水戸の徳川斉昭が将軍後見職に就任した。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

**第5問** 近・現代の政治と法制に関するA～Cの文章を読み、次の問い（問1～7）に答えよ。

A 1881年、開拓使官有物払下げ事件で世論の攻撃を受けた政府は、かねてから「ア」にもとづく議会の早期開設を主張して伊藤博文と対立していた大隈重信を罷免するとともに、国会開設の勅諭を出して1890年の国会開設を公約した。そして伊藤が中心になって、憲法制定と国会開設の準備を進めていった。

1889年、大日本帝国憲法が公布されたが、これは天皇の名で制定された欽定憲法で、また①「議会が関与できない天皇大権が幅広く規定されたものだった」。しかしこの憲法により、国民は議会での予算案や法律案の審議をつうじて国政に参加する道が開かれた。1890年に第一議会が開かれると、②「予算案をめぐって政府と政党が激しく対立し」、この対立は日清戦争の直前までつづいた。

また政府は、条約改正のためもあって、フランス人法学者「イ」を中心に諸法典の編纂を進めた。しかし、1890年に公布された民法に対して、これは日本の伝統的家族道徳と合わないとする批判が起こり、激しい論争が行われた。

問1 空欄「ア」・「イ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① アーフランス流の自由主義    イーボアソナード
- ② アーフランス流の自由主義    イーロエスレル
- ③ アイギリス流の議院内閣制    イーボアソナード
- ④ アイギリス流の議院内閣制    イーロエスレル

問2 下線部①に関連する次の文章の空欄「ウ」に入る語句として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

大日本帝国憲法第11条には「天皇ハ陸海軍ヲ「ウ」ス」とあり、これによって軍隊の作戦や用兵に関する権限は天皇に直属するもので、内閣や議会は関与できないとされた。これを「「ウ」権の独立」という。

- ① 統帥    ② 総攬そうらん    ③ 統治    ④ 指揮

問3 下線部⑥に関連して、初期議会の動向について述べた次の文Ⅰ・Ⅱとその時期ア～エの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

Ⅰ 政府は立憲自由党の一部をきりくずして軍備拡張予算を成立させた。

Ⅱ 政府と民党が激しく衝突した結果、政府は衆議院を解散した。

ア 黒田清隆内閣

イ 第1次山県有朋内閣

ウ 第1次松方正義内閣

エ 第1次大隈重信内閣

① Ⅰ－ア Ⅱ－ウ      ② Ⅰ－ア Ⅱ－エ

③ Ⅰ－イ Ⅱ－ウ      ④ Ⅰ－イ Ⅱ－エ

B 大正時代末期の1924年、第二次護憲運動によって憲政会・立憲政友会・革新倶楽部による3党連立の加藤高明内閣が成立し、これ以後、「」とよばれる政党内閣の慣例がしばらくつづくことになった。また翌年にはこの内閣のもとで、いわゆる普通選挙法が成立した。同じ議会で<sup>㉔</sup>治安維持法も成立した。これは後に、言論・思想・学問の弾圧に大きな威力を発揮するものとなった。

その後、昭和時代に入ると、五・一五事件で政党内閣の時代が終わり、二・二六事件で軍部の台頭が決定的になった後、1937年には盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まった。翌年には戦時体制確立のためが議会で成立した。これは戦争遂行に必要な物資や労働力を政府が議会の承認なしに動員できるとするもので、これにより議会の権限は形骸化した。

問4 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 工－民本主義      オ－重要産業統制法
- ② 工－民本主義      オ－国家総動員法
- ③ 工－憲政の常道    オ－重要産業統制法
- ④ 工－憲政の常道    オ－国家総動員法

問5 下線部<sup>㉔</sup>に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 制定の目的は、同年のロシア革命による共産主義の波及防止にあった。
- Ⅱ その後この法は改正され、最高刑として死刑も科されるようになった。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

C 1945年の夏に戦争が終わり、その年のうちに日本社会党・日本自由党・日本進歩党などが結成されて政党が復活した。12月には衆議院議員選挙法の改正によって女性の参政権が認められ、㉔この選挙法にもとづく総選挙が翌年4月に行われた。選挙後に召集された帝国議会では、憲法審議にあたった。

これより前の1945年10月、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）は憲法改正を幣原喜重郎内閣に指示したが、幣原内閣の改正案の内容が不十分として、翌年2月、GHQがみずから作成した改正草案を政府に提示した。政府はこれに手を加えて政府原案とし、衆議院と貴族院での審議を経て1946年11月3日、日本国憲法が公布され、翌年5月3日に施行された。

また㉕新しい憲法の理念にもとづいて、民法などその他の法律も改正・制定された。

問6 下線部㉔に関して、この総選挙では日本自由党が第一党となった。この時その党首でありながらGHQの公職追放によって組閣を断念し、後に政界に復帰して政権の座につき、ソ連との国交正常化や日本の国連加盟を実現した人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 鳩山一郎    ② 吉田茂    ③ 石橋湛山    ④ 岸信介

問7 下線部㉕に関連して、日本国憲法公布後に行われた法律の改正・廃止や制定に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 民法が改正され、戸主制度が廃止された。  
② 刑法の大逆罪・不敬罪の規定が廃止された。  
③ 首長任命制を定めた地方自治法が制定された。  
④ 教育の機会均等などをうたった教育基本法が制定された。

(日本史の問題は終わり)